

ほっとけない、税金のムダづかい

くらしを
まもれ!

一内海ダム再開発を考えるシンポジウム一

現在の環境と景観の国立公園「寒霞渓」

■事業の概要

内海ダム再開発事業は、県と小豆島町が同町神懸通の別当川にある既存ダムの下に新たに多目的ダムを建設する事業。新ダムはえん堤の高さが現在の2倍の約42メートル、総貯水容量は7.5倍の約106万トンとなる。

■突然に巨大化したダム再開発

わずか4キロメートルの別当川に、早明浦ダムより47メートルも長い447mの巨大堰堤。しかし貯水量は1/300。どう考えても必要がない巨大ダム。「まずダムありき、理由は後付け」(超党派の国会議員視察から)

■巨額の税金のムダづかい 4つの問題

災害対策なら、河川改修、高潮対策こそ急務。水道料金の大幅値上げに。全国屈指の景観寒霞渓も台無し。ダム直下に断層と住宅密集地

■計画を白紙に戻し再検討を

治水も利水も必要性を真剣に再検討すべき



新内海ダム建設計画での完成予想景観図



事業の経過と反対運動の経緯

- 1999年10月 県議会で再開発事業の概要発表、貯水容量7.5倍に
- 2001年1月 住民団体が国土交通省に事業の凍結・中止を求め要望(2002年、2003年にも同申し入れ)
- 2001年7月 事業凍結求め「内海ダム再開発事業と国立公園寒霞渓の自然を考える会」が県に要望書提出
- 9月 「考える会」が凍結求める署名1232人分提出
- 2003年3月 「自然と共に生きる会」などが事業中止を求める立ち木トラスト開始
- 2004年10月 小豆島「海と山」からの水害を考える全国集会、約500人
- 2005年3月 景観検討委始まる(非公開)
- 4月 事業に反対する「寒霞渓の自然を守る連合会」が県に公開討論会の開催と情報開示を申し入れ
- 5月 「自然を守る連合会」が知事に別当川の水位痕跡調査結果などの開示請求
- 10月 「自然を守る連合会」が県に公開討論会の開催を再び要求
- 11月 知事、06年度から新ダムの道路工事に着手する意向を公表
- 2007年8月 県と小豆島町が土地収用法に基づく事業説明会を開催
- 2008年3月 県と小豆島町が事業認定を国土交通大臣に申請
- 4月 反対側住民、公聴会の開催請求を四国地方整備局に申請
- 2008年6月 四国地方整備局は、小豆島町、土庄町で公聴会を開き、賛成、反対双方の立場から19組計33人が意見を述べた
- 2008年11月 香川県公共事業再評価委、県に「住民の理解を得る努力をしてほしい」と注文を付け、事業継続を認める
- 2008年12月 「寒霞渓の自然を守る連合会」土地収用法の適用申請を取り下げるよう求める申し入れ書を県に提出

パネラー

谷脇和仁さん(弁護士)

日弁連公害対策 環境保全委員会委員)

林田直樹さん(川辺川ダム反対運動、弁護団事務局)

山西克明さん(寒霞渓の自然を守る連合会代表)

白川容子さん(日本共産党香川県議会議員)

2月14日(土)

午後1時30分から 4時

香川県民ホール北館4階大会議室

香川革新懇 共催
日本共産党香川県議団

(平和・民主主義・革新の日本をめざす香川の会)
(日本共産党香川県議会議員団)

連絡先 高松市松島町 1-17-10 香川県労連内 電話 816-5382 FAX 837-7891
連絡先 高松市番町 4-1-10 087-832-3676 FAX 831-4745

「内海ダム再開発を考えるシンポジウム」 成功させるニュース

香川革新懇

2009/2/4

「ほっとけな—い！ 税金のムダづかい」

内海ダム再開発を考えるシンポジウムの成功へ

香川革新懇と日本共産党県議団で共催する2月14日のシンポジウムが目前に迫ってきました。内海ダム再開発事業は反対運動が粘り強くとりくまれ、昨年開かれた公聴会はダム建設を推進する根拠がいよいよなくなっていることが際立ちました。

こうした到達にもまなんで、内海ダム建設に反対する世論を大きく広げることがいま大切になっています。多くの方に参加をよびかけてなんとしても成功させましょう。

新内海ダム計画とは

■事業の概要

内海ダム再開発事業は、県と小豆島町が同町神懸通の別当川にある既存ダムの下に新たに多目的ダムを建設する事業。新ダムはえん堤の高さが現在の2倍の約42メートル、総貯水容量は7.5倍の約106万トンとなる。

■突然に巨大化したダム再開発

わずか4キロメートルの別当川に、早明浦ダムより47メートルも長い447mの巨大堰堤。しかし貯水量は1/300。どう考えても必要がない巨大ダム。「まずダムありき、理由は後付け」（超党派の国会議員視察から）

■巨額の税金のムダづかい 4つの問題

災害対策なら、河川改修、高潮対策こそ急務。水道料金の大幅値上げに。

全国屈指の景観寒霞渓も台無しに。

ダム直下に断層と住宅密集地

■計画を白紙に戻し再検討を

住民運動が一貫して求めてきたように治水も利水も必要性を真剣に再検討すべき

①脱ダムの流れ——香川でも

環境問題を引き起こし、治水・利水にも役に立たないムダなダム建設。そんなダムを見直し、建設を中止する動きが全国で広がっています。内海ダムも、「ムダな公共事業止めよ」の声が高まっています。会場いっぱいにした成功は世論を広げる大きな契機となります。



②住民運動団体との共同を発展させる場

ムダな公共事業に反対する大きな住民運動は県内では内海ダムがはじめてです。住民のたたかいは、さまざまな圧力や立場の違いを乗り越え運動を前進させてきました。今回のシンポはこうした運動団体と革新懇がはじめて共同する場になります。ダム建設を中止に追い込む展望をひらく画期的な場です。

③多彩なパネラー

パネラーは住民運動の発展を反映して多彩な顔ぶれです。熊本の川辺川ダムを白紙撤回に追い込んだ原告団事務局の代表、日弁連公害対策・環境保全委員会の委員で内海ダム建設反対の住民運動を一緒にすすめている弁護士、そして、住民運動の代表、毎回の県議会でとりあげ県に断念を迫っている日本共産党の県議の4人がそれぞれの立場で問題を提起します。

魅力を知らせて成功させよう

シンポの魅力を多くの人に知らせて会場いっぱい成功させましょう。あわせて、こうした問題にとりくむ革新懇の魅力も大いにひろげて地域・職場・青年のなかに革新懇の輪をひろげましょう。



2日三越前の宣伝行動にも反響



川辺川ダム白紙撤回へ
追い込んだ
住民運動原告団代表も
やってくる!!

2月14日(土)
13:30~16:00
アルファあなぶきホール
(香川県民ホール)
北館4階 大会議室

パネラー



- 谷脇和仁さん
(弁護士・日弁連公害対策・環境保全委員会委員)
- 林田直樹さん
(川辺川ダム利水訴訟原告団事務局)
- 山西克明さん
(寒霞溪の自然を守る連合会代表)
- 白川容子さん
(日本共産党香川県議会議員)

自然の宝石箱「寒霞溪」に
ムダなダムが
出来たら・
自然は、破壊され・・・
景観は、台無し・・・
観光にも、ひびいてしまう・・・
水道料金は、大幅にあがる・・・
しかも、ダム直下に断層がある・・・

やっぱり、ほっとけな-い!!
みんなで、考えてみよう!!

香川革新懇 共催
日本共産党香川県議団

日本3大渓谷

大切な小豆島の「宝」が台なし

新内海巨大

寒霞渓に危険なダムいらない!

違いはハッキリ

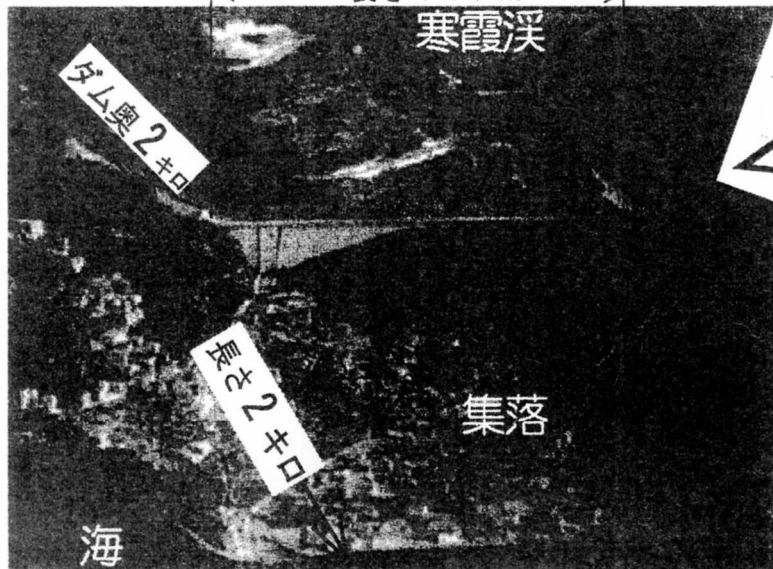
県財政ピンチ なぜ「ダム」建設

	新内海ダム	吉田ダム	早明浦ダム
ダム全長	447m	218m	400m
ダム高さ	42m	74.5m	106m
河川全長	3996m	5000m	吉野川水系吉野川
集水面積	4.8Km ²	6.3Km ²	472Km ²
総貯水量	106万トン	236万トン	31,600万トン
総事業費	185億円	246億円	

本年度で既に50億円超え。本体工事に着工すれば吉田ダム規模まで膨れ上がり莫大な県民負担になります

早明浦ダムより長い**447m巨大ダム**

長さ447m



その訳

①ダム直下に断層 岩盤弱く崩壊の危険 いつまでも

えん堤の真下を走る「3つの断層」。小豆島の土質は、崩れやすい花崗岩が風化した「まさ土」。

ダムの側面を支える岩盤は弱く、地震で断層がズレれば、えん堤が決壊するなど大惨事に。その危険はダムがある限り続きます。岩手・宮城内陸地震の教訓からしても、極めて危険な巨大ダムです。



②河川の改修が安全・安心

別当川は昭和51年災害をうけ、激甚災害地域として、この豪雨に耐えられる改良（再度災害防止）工事を国の補助事業で進めたはず。それを、巨大ダム建設の口実に、昭和51年災害を使うことは改良工事のあり方が問われます。

新内海ダムでは、流域の違う片城川、西城川の氾濫は防げず、住民の生命と財産を守る公共事業として極めて「費用対効果」の薄い「ムダ使い」。河川の改修など生活密着型公共事業なら地元業者も潤います。

③住民無視して土地強制とり上げ

香川県のダム事業で土地収用法にもとづく強制収用を強行した例はありません。

住民の生命と財産を守る治水対策で、「反対」住民を無視し、財産も生活権も奪うことは本末転倒です。

強引に進める何か「力」が働いているのでしょうか？

早明浦ダム
集水面積 100分の1
総貯水量 300分の1

↑高さ
42m
↓



④ダムの建設費・維持費 町民が水道料金で負担

県内でも最も高い水道料金。それによって溜めた留保金をダム建設に使っています。

老朽水道管の改修や浄水施設など本来の投資に使う資金がなくなり、ダムの維持管理費含め水道料金の引き上げで賄うことになります。

日本共産党の見解

小豆島民報

2008年6月号外

発行 小豆島民報社

電話 82-5825